

指定管理者管理運営状況評価(彩の国さいたま芸術劇場)

評価対象施設	彩の国さいたま芸術劇場
指定管理者	公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団
評価対象年度	令和6年度
施設所管課	文化振興課

評価項目	細項目	評価	コメント
利用者の 安心・安全、 平等利用の 確保	安全性の確保、法令 等の遵守	B	メール送信の際、Bcc送信をしなかったことで、個人アドレスの流出が生じた。 その他法令等に基づく点検や事故防止等の安全対策は適切に実施された。
	平等利用の確保	A	利用許可基準に基づく平等利用の確保が図られていた。
施設の設置 目的の達成	事業の実施	A	大規模改修による休館期間を経て、万全を期して事業が実施された。
	利用状況	A	施設利用者数 351,692人(目標達成率 106.6%) 施設利用率 84.4%(目標達成率 99.3%) 利用料金収入 129,080千円(目標達成率 128.3%)
施設の適切な管理	適切な管理の 履行	A	建物・設備の管理、警備など、協定書に沿った適切な管理が行われていた。
	財産の適切な 管理	B	おおむね適切な管理がなされたが、備品廃棄について適切な時機に報告がなされなかった。
	県内中小企業者、環境、 障害者雇用等への配慮	A	R5は障害者の法定雇用率を満たしていなかったが、アルバイトを雇用することで達成した。
利用者サービスの 向上	サービス内容の向上	A	地下のロビー等共用スペースに公衆Wi-Fiを導入し、利便性向上を図った。
	利用者の満足度	A	公演満足度 97.2% 施設利用満足度 96.2%
総合評価		A	施設の管理運営については、特に問題なく施設の適正かつ適切な管理を行った。

特記事項	特に評価すべき点	大規模改修後の休館明けから、順調に利用者数は回復し、コロナ禍前の水準にほぼ回復している。
	次年度に向けて 改善が望まれる点	・備品廃棄に関する報告について適切な時機になされなかったこと、メール送信についてBcc送信とせず、個人アドレスの流出が生じたことから、適切迅速な報告及び個人情報の管理については、引き続き注意されたい。